

ふくしの森ステーション かじ だより

発行：飯能市社会福祉協議会/ふくしの森ステーションかじ（加治東地区行政センター内）
電話：070-7792-2423（不在時は本部へ転送されます。）/ファクス：042-973-8941
メール：station-kaji@hannosyakyo.or.jp

開所日時：火～金曜日（祝日を除く）🕒 9:15～16:15

加治小学校で“福祉教育”を実施しました！

テーマは「人と仲良し」

加治小学校では、総合的な学習の一環として、6年生で事業所訪問をします。ここではご高齢の方々と交流をし、他者への理解を深めます。

今回、社協が協力をした4年生の福祉教育では、障がいのある方など地域に様々な人が暮らしていることへの理解を目指して実施しました。

そして、4年生での経験が6年生でご高齢の方々と交流を行うときに活かせるよう、担任の先生たちと打ち合わせを重ねて実施させていただきました。

色々な体験を通してふくし学びました

今回の福祉教育では、初めに私たち社協がどんなお仕事をしているのかを知ってもらい、後半に【ふくしとは】をみんなで一緒に考えました。

また、車いす、アイマスク、白杖などの疑似体験や、障がい者スポーツである【ボッチャ】の体験をしました。

他には、実際に視覚障がいがある方を講師にお招きし、ふだんの暮らしについてのお話をさせていただきました。



（写真）社協のお仕事を紹介をしている様子



（写真）車椅子体験で段差を上る様子

みんなが主役、それが「ふくし」

社協から子どもたちに「ふくし」とはなにか説明するときに、「ふだんの暮らしのしあわせ」と伝えていきます。ふくしとは、特別な誰かのためではなく『みんな』のものであるということ。みんなが「主役」であることを、加治小学校の4年生にお伝えいたしました。

福祉教育のことは社協まで！

福祉教育は、小学生に限らず、ともに地域福祉をすすめていく地域にお住いのみなさん【全員】が対象になります。

福祉教育に興味がある方、「ふくし」について学びたいと思った方は、お気軽に【ふくしの森ステーションかじ】までご連絡ください！
担当：数野

ちよつとずつの会 「ちよつとずつごはん」

社協

地域ふくし発見!

飯能市内の地域福祉に関する素敵な活動や取り組みをふくしの森ステーションCSW(コミュニティソーシャルワーカー)が取材・発信していきます。(聞き手:榎戸)

●困った時はお互い様の精神で「ちょっと困っている人」と「お手伝いできる人」を繋ぐ互助活動を展開中の「ちよつとずつの会」が始めた「ちよつとずつごはん」の取り組みについて、代表の川野さんにお話を伺いました。



きっかけ!

2年ほど子どもの居場所づくりとしてごはんを作って、活動をしてきたけど、お料理上手な人が引越してしまったの(涙)それで、地区内外で「お料理好きな人居ないかな」「ごはんの会をやりたい」と呟いているうちに、やってみてもよい、手伝ってもいいよという仲間が現れたんです。



原市場の
素敵な活動!
代表:川野さん

想うこと!



いろいろな人が自由にできるんだということ。難しく考えないで、今日はこの人、次回はあの人とやれば、にぎやかになる。自由で良いと思っています。コック長は、愛称:おかあさんです。みんなで、楽しみながら、ちよつとずつやっています。



「バッハプレリュード1番」と「メモリー」を弾きますね



参加者感想

原市場は、「交通手段の課題」がありますが、送迎までしてくれて、最高に助かりますし、お食事もみんなでいただくので、本当においしいです。おしゃべりもできて、毎月のお楽しみになっています。

CSW独り言

訪れて感じたことは、皆さんが、お互いさまで自然体で楽しんでいること。無理せず自らお手伝いをしていて、川野さんをはじめ皆さんのお姿に感動を覚えました。

ちよつとずつごはん

ひとりじゃ淋しい昼ごはん。一緒に作って食べましょう♪

- 【活動日】 第1金曜日午前10時半から午後2時まで
- 【参加費】 300円(月平均参加者15名ほど)
- 【活動場所】 原市場福祉センター 飯能市原市場599
- 【問合せ】 090-5324-6412*送迎含む申込み 川野

どなたでもご参加できます。1週間前までに申し込んでください♪